

## 千代田区まちづくりプラットフォームのあり方に係る 実証実験実施方針（案）

### 1 目的

現在検討中の千代田区まちづくりプラットフォームの運用に向けて、実際のエリアプラットフォームを対象として「千代田区まちづくりプラットフォームのあり方素案（案）」に沿って支援を行い、まちづくりプラットフォームの機能やその効果を検証する。今回の実証実験では、主にまちづくりプラットフォームの機能②「エリアプラットフォームへの継続的支援」の内の〔1〕助言・サポート機能、〔2〕アドバイザーの派遣について検証する。

### 2 スケジュール（案）

4月 ～6月	○エリアプラットフォームの選定
6月	第4回千代田区まちづくりプラットフォームのあり方検討会にて、実証実験の実施方法等を報告
7月 ～10月	○エリアプラットフォームに対して、合意形成の課題等についてヒアリング調査を実施 ○まちづくりプラットフォーム（仮）のまちづくりサポーターズ（仮）による課題解決に向けた助言内容の検討 ※必要に応じてエリアプラットフォームにまちづくりサポーターズ（仮）が直接ヒアリングを実施 ○エリアプラットフォームに対してまちづくりプラットフォーム（仮）より提言 ※必要に応じてエリアプラットフォームの会議等で運営事務局（仮）または、まちづくりサポーターズ（仮）の代表者が提言。 ○エリアプラットフォームに対して、提言の活用状況や影響等をヒアリング。
11月	○実証実験の検証・まとめ
12月	○第5回千代田区まちづくりプラットフォームのあり方検討会において、実証実験結果を報告。結果をあり方（素案）に反映。

### 3 まちづくりプラットフォーム（仮）の運営組織

まちづくりプラットフォーム（仮）の運営組織は、運営事務局（仮）とまちづくりサポーターズ（仮）で構成する。

まちづくりサポーターズは、専門知識・現場経験のある有識者（学識経験者、NPO 関係者等）と、選定したエリアプラットフォームの地域に詳しい区民等で構成する。

まちづくりサポーターズ（仮）	○千代田区まちづくりプラットフォームのあり方検討会委員のうち、有識者3名 ○区民等は、事務局が提案した候補のうちから有識者または検討会での協議により2名選定
運営事務局（仮）	○景観・都市計画課

### 4 検証事項

#### (1) まちづくりプラットフォームの助言・サポート機能の検証

多様な関係者が参画する議論の場づくりや合意形成のプロセス、情報共有の手法等について、まちづくりサポーターズと事務局が協働しながら助言・サポートをエリアプラットフォームに提供できるか、また、それらがエリアプラットフォームにおいて受け入れられるか検証する。

#### (2) エリアプラットフォームへのアドバイザー派遣の効果の検証

エリアプラットフォームの要望に応じてアドバイザーを派遣することで、エリアプラットフォーム内の信頼関係の形成と合意形成を目指す協働を推進し、スムーズな議論や意見の整理を後押しできるか検証する。

※ただし、エリアプラットフォームの会議が予定されていない場合や、求めがない場合は検証を省略する。